

◆ はじめに

「WTB10-PH □中継端子箱」は、pH/ORP 検出器と PH202、FLXA202/FLXA21 2 線式 pH/ORP 伝送器、PH450G 4 線式 pH/ORP 変換器との設置場所が離れている場合に使用する機器です。

本器は、屋外に設置することができます。

不都合が生じるのを避けるため、使用前に取扱説明書を一通りお読みになってください。

取扱いに際して特に留意していただきたい事柄は、その重要度に応じて、取扱説明書中に「警告」、「注意」といった形で明示します。機器の損傷を防ぐため、これらの記載事項を厳守してください。

■ 仕様の確認

「WTB10-PH □中継端子箱」には、原則として、指定された長さの専用延長ケーブルが付属します。

また、ご希望があった場合は、ケーブルをコンジットで保護するためのアダプタも付属します。

お手元に届いたら丁寧に開梱し、輸送時の損傷が無いことを点検してください。

また、念のため、ご指定の品が不足なく付属していることを確認してください。

■ 本取扱説明書の内容

この取扱説明書は、「WTB10-PH □中継端子箱」の仕様や設置・配線方法を説明したものです。

PH202 2 線式 pH/ORP 伝送器への配線接続に関しては、取扱説明書 IM 12B07D02-01 を参照してください。FLXA202/FLXA21 2 線式液分析計に関しては、取扱説明書 IM 12A01A02-01 を参照してください。PH450G 4 線式 pH/ORP 変換器への配線接続に関しては、取扱説明書 IM 12B07C05-01 を参照してください。

■ 説明書に対する注意

- ・ 説明書は、最終ユーザまでお届けいただき、最終ユーザがお手元に保管して随時参照できるようにしていただきますようお願いいたします。
- ・ 本製品の操作は、説明書をよく読んで内容を理解したのちに行ってください。
- ・ 説明書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
- ・ 説明書の内容の一部または全部を、無断で転載、複製することは固くお断りいたします。
- ・ 説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 説明書の内容について、もしご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、当社の説明書作成部署、当社の営業またはお買い求め先代理店までご連絡ください。

◆ 安全に使用するための注意事項

■ 本製品の保護・安全および改造に関する注意

- ・ 本製品および本製品で制御するシステムの保護・安全のため、本製品を取り扱う際は、説明書に記載されている安全に関する指示事項に従ってください。なお、これらの指示事項に反する扱いをされた場合、当社は安全性の保証をいたしかねます。
- ・ この説明書で指定していない方法で使用すると、本機器の保護機能が損なわれることがあります。
- ・ 本製品および本製品で制御するシステムに対する保護・安全回路を設置する場合は、本製品外部に別途用意するようお願いいたします。
- ・ 本製品の部品や消耗品を交換する場合は、必ず当社の指定品を使用してください。
- ・ 本製品を改造することは固くお断りいたします。
- ・ 当該製品および本書には、安全に関する以下のような警告シンボルマークとシグナルワード、またはシグナルワードを使用しています。



警告

製品への表示は、取扱者および機器を重大な事故から保護するために、取扱説明書を必ず参照する必要がある場所に貼付しています。

また、取扱説明書への記載の場合、感電事故など、取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがある場合（同時に機器を損傷することもあります）、その危険を回避するための注意事項を記述してあります。



注意

製品への表示は、取扱者および機器を事故から保護するために、取扱説明書を必ず参照する必要がある場所に貼付しています。

また、取扱説明書への記載の場合、取扱者に対し、軽傷事故が発生する恐れがある場合、または機器を損傷する恐れがある場合に、その危険を回避するための注意事項を記述してあります。

以下のシグナルワードやシンボルマークは、取扱説明書にのみ使用しています。

注意

ソフトウェアやハードウェアを損傷したり、システムトラブルになる恐れがある場合に、注意すべきことがらを記述してあります。

注記

操作や機能を知る上で、注意すべきことがらを記述してあります。

■ 本製品の免責について

- ・ 当社は、保証条項に定める場合を除き、本製品に関していかなる保証も行いません。
- ・ 本製品のご使用により、お客様または第三者が損害を被った場合、あるいは当社の予測できない本製品の欠陥などのため、お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 保証とサービス

- 当該製品を無断で改造することは固くお断りします。
- 保証の期間は、ご購入時に弊社よりお出しした見積書に記載された期間とします。保証サービスは、弊社の規定に従い対処いたします。摩耗や破損、不適切な保守作業、腐食、化学工程の影響による損害については、本保証の対象外とします。弊社が定める地域以外における出張修理対象製品の修理の場合は、保証期間中においても技術者派遣費が有料となります。
- 保証期間内に、弊社納入品に弊社の責任による故障が生じた場合には、故障内容を、弊社指定の販売窓口または最寄のサービス事業所にお持ちいただくか、お送りください。
 - ・ 故障が生じた納入品の形名・シリアル番号、不具合の内容および経過などについて具体的にご連絡ください。略図やデータなどを添付していただければ幸いです。
 - ・ 新品交換の際は、修理レポートは添付いたしません。
- 次のような場合には、保証期間内でも修理が有料となります。
 - ・ 取扱説明書などに記載されている保証対象外部品の故障の場合。
 - ・ 弊社が供給していないソフトウェア、ハードウェア、または補用品の使用による故障の場合。
 - ・ お客様の不適当なまたは不十分な保守による場合。
 - ・ 弊社が認めていない改造、酷使、誤使用または誤操作による故障の場合。
 - ・ 納入後の移設が不適切であったための故障または損害の場合。
 - ・ 指定外の電源（電圧、周波数）使用または電源の異常による故障の場合。
 - ・ 弊社が定めた設置場所基準に適合しない場所での使用、および設置場所の不適当な保守による故障の場合。
 - ・ 火災、地震、風水害、落雷、騒動、暴動、戦争行為、放射線汚染、およびその他天災地変などの不可抗力的事故による故障の場合。
- 弊社で取り扱う製品は、ご需要先の特定目的に関する整合性の保証はいたしかねます。また、そこから生じる直接的、間接的損害に対しても責任を負いかねます。
- 弊社で取り扱う製品を組込みあるいは転売される場合は、最終需要先における直接的、間接的損害に対しては責任を負いかねます。
- 製品の保守、修理用部品の供給期間は、その製品の製造中止後5年間とさせていただきます。本製品の修理については取扱説明書に記載されている最寄のサービス事業所もしくはお買い求め先弊社指定販売窓口へご相談ください。

WTB10-PH□ 中継端子箱

IM 19D01B01-01 6版

目次

- ◆ はじめに..... i
- ◆ 安全に使用するための注意事項..... ii
- 1. 仕 様 1-1
 - 1.1 標準仕様 1-1
 - 1.2 形名およびコード 1-2
 - 1.3 外形図 1-3
- 2. 設置、および配線 2-1
 - 2.1 設 置 2-1
 - 2.1.1 設置場所 2-1
 - 2.1.2 取付け方法 2-1
 - 2.2 配 線 2-3
 - 2.2.1 ケーブル引込み口の加工 2-4
 - 2.2.2 検出器ケーブルの接続 2-4
 - 2.2.3 延長ケーブルの接続 2-6
- 3. 点検、および保守 3-1
 - 3.1 乾燥状態の点検と保守 3-1
 - 3.2 腐食の点検と保守 3-1
- Customer Maintenance Parts List CMPL 19D01B01-01
- 取扱説明書 改訂情報 i

1. 仕様

1.1 標準仕様

構造： 屋外設置形、JIS C0920 防雨構造

ケース材質： ガラス繊維入りポリカーボネート樹脂

ケース色： 緑灰色（マンセル 2.5GY5.0/1.0 相当）

取付け方法： ブラケット取付け（取付け金具、不要）

パイプ取付け（取付け金具、要指定）

壁面取付け（取付け金具、要指定）

質量： 約 0.5 kg

取付け金具；約 0.7 kg（パイプ取付け用； /P オプション）

約 0.3 kg（壁面取付け用； /W オプション）

使用周囲温度： -10 ～ 50℃

ケーブル引込み口：（配線時に工具で打ち抜く）

検出器ケーブル用： ϕ 13 mm 穴、JIS A8 相当ケーブルグランド付属

専用延長ケーブル用： ϕ 21 mm 穴、JIS A15 相当ケーブルグランド付属

注：専用延長ケーブルは、コンジットで保護することが可能です（検出器ケーブルは不可）。ただし、コンジット工事用アダプタを必要とします。ご指定（付加コード：/AWTB または /ANSI）があった場合は、コンジット工事用アダプタ 1 組（2 個）とケーブルグランド（JIS A15 相当）1 個が付属します。ケーブルグランドは、伝送器 / 変換器の検出器ケーブル引込み口に取り付けます（DIN Pg13.5/M20 ケーブルグランドを取りはずす）。

専用延長ケーブル：

ケーブルの長さ；指定による（5 m、10 m、15 m）、端末処理済み

1.2 形名およびコード

形名	基本コード	付加コード	仕様
WTB10	中継端子箱
組合せ機器	-PH1	PH202/FLXA202/FLXA21 用 (一般検出器および PH4/OR4 検出器用ピン端子) (*6) (*7)
	-PH2	PH202/FLXA202/FLXA21 用 (PH4/OR4 検出器用ピン端子) (*1) (*6)
	-PH3	PH450G、PH202/TB 用 (一般検出器および PH4/OR4 検出器用 M3 丸端子) (*4) (*7)
	-PH4	PH450G、PH202/TB 用 (PH4/OR4 検出器用 M3 丸端子) (*1) (*4)
	-PH5	FLXA202/FLXA21 用 (一般検出器および PH4/OR4 検出器用 M4 丸端子) (*5) (*7)
	-PH6	FLXA202/FLXA21 用 (PH4/OR4 検出器用 M4 丸端子) (*1) (*5)
—	-NN	常に -NN
ケーブル長 (*2)	-00	0 m (*3)
	-05	5 m
	-10	10 m
	-15	15 m
付加仕様 取付け金具 コンジットアダプタ	/P /W /AWTB /ANSI		パイプ取付け金具 壁取付け金具 G1/2 1/2NPT

- *1： 測温抵抗体付きアダプタ SA405 を使用する場合には -PH2、-PH4、-PH6 をご使用ください。
- *2： ケーブル長は検出器ケーブルを含めて最長 20 m 以内になるように選択してください。
- *3： 必ず専用延長ケーブルをご使用ください。
- *4： M3 用ねじ端子台で、ケーブル末端が M3 用丸端子になります。
- *5： M4 用ねじ端子台で、ケーブル末端が M4 用丸端子になります。
- *6： M4 用ねじ端子台で、ケーブル末端がピン端子になります。
- *7： PH4/OR4 検出器で測温抵抗体付きアダプタ (SA405) を使用しない場合には、-PH1、-PH3、-PH5 をご使用ください。

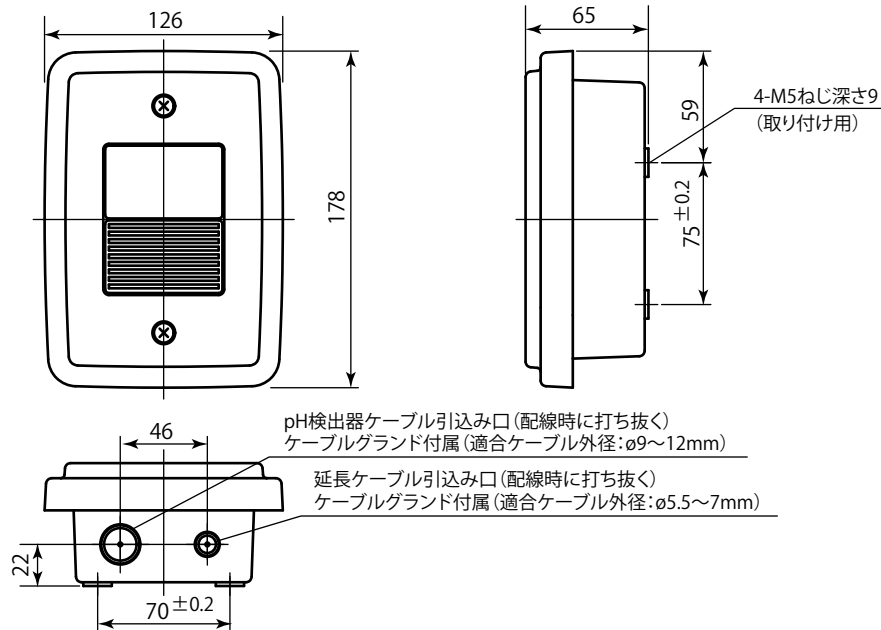
付 属 品

品名	部品番号	備考
ケーブルグラウンド (1 式)	B1001JZ B1002JZ K9148UN	延長ケーブル引込み口用 検出器ケーブル引込み口用 -PH2、-PH4、-PH6 用
延長ケーブル	K9316R □ K9316V □ K9316W □	-PH1、-PH2 用 (ケーブル長：基本コードで指定) -PH3、-PH4 用 (ケーブル長：基本コードで指定) -PH5、-PH6 用 (ケーブル長：基本コードで指定)
パイプ取付け金具	K9141SA	「付加コード：/P」指定の場合に付属
壁面取付け金具	K9141SC	「付加コード：/W」指定の場合に付属
コンジット接続用アダプタ (1 式)	K9141TY K9141TX K9311KQ K9311KR B1002JZ	「付加コード：/AWTB」指定の場合に付属 「付加コード：/AWTB」指定の場合に付属 「付加コード：/ANSI」の場合に付属 「付加コード：/ANSI」の場合に付属 /AWTB、/ANSI いずれにも付属

1.3 外形図

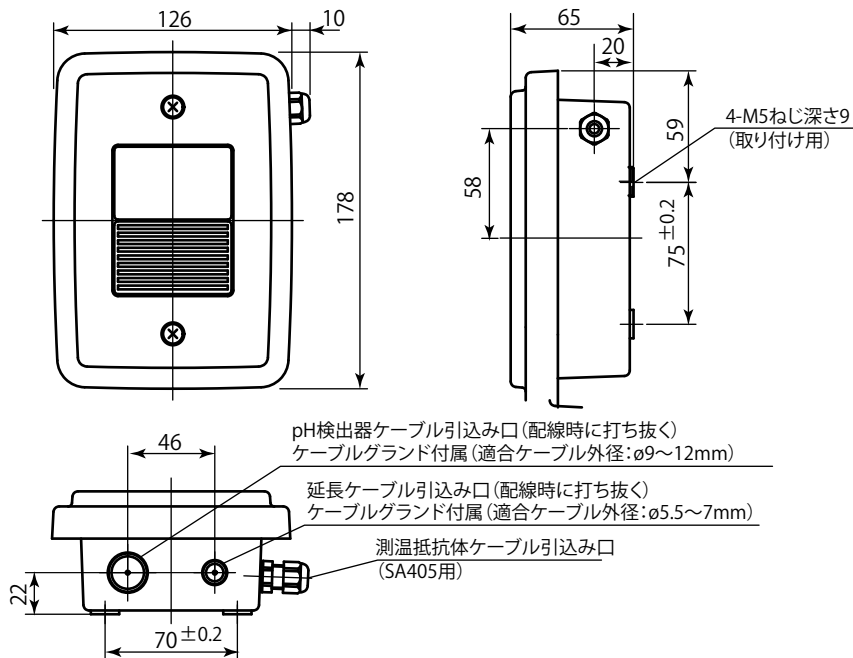
中継端子箱 WTB10-PH1、-PH3、-PH5

単位：mm



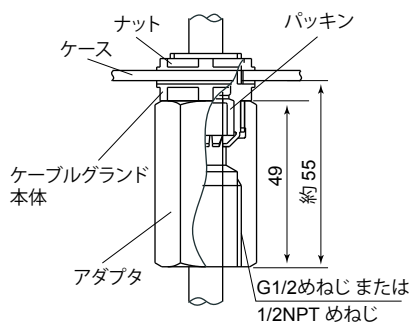
中継端子箱 WTB10-PH2、-PH4、-PH6

単位：mm



コンジット工事用アダプタ (/AWTB、/ANSI)

単位：mm

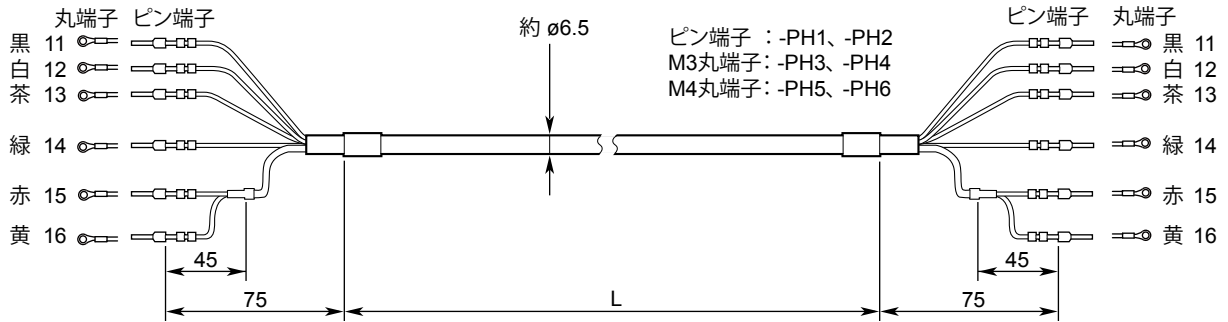


注：本品（1組）は、専用延長ケーブルをコンジットで保護する場合に使用します。伝送器 / 変換器の中継端子箱の延長ケーブル引き込み口用ケーブルグランドに取り付けてください。なお、伝送器 / 変換器用のアダプタには、ケーブルグランド（JIS A15）を付属します。pH 伝送器 / 変換器に付いているケーブルグランド（DIN Pg13.5/M20）と交換してください。本品にて専用延長ケーブルをコンジットで保護する場合には、中継端子箱の延長ケーブル引込み口用ケーブルグランド（樹脂製）に取り付けてください。ケーブルグランドを樹脂製（絶縁物）にすることで中継端子箱内面がコンジットを通して接地されることを防ぎます。

図1.1 「WTB10-PH□中継端子箱」外形図（その1）

専用延長ケーブル

単位：mm

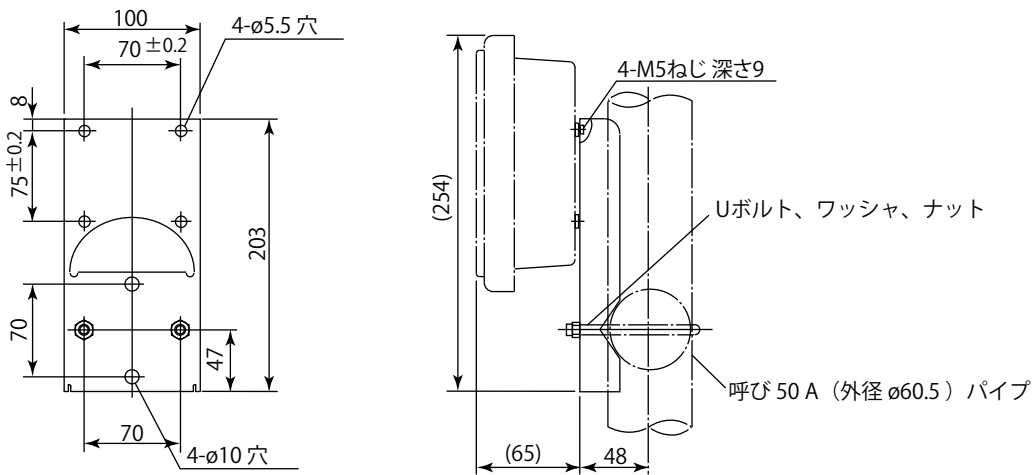


形名・基本コード	L
WTB10 - PH□ - NN - 05	約 5 000
WTB10 - PH□ - NN - 10	約 10 000
WTB10 - PH□ - NN - 15	約 15 000

質量：約 0.12 kg/m

パイプ取付け用金具 (/P)

単位：mm



壁面取付け用金具 (/W)

単位：mm

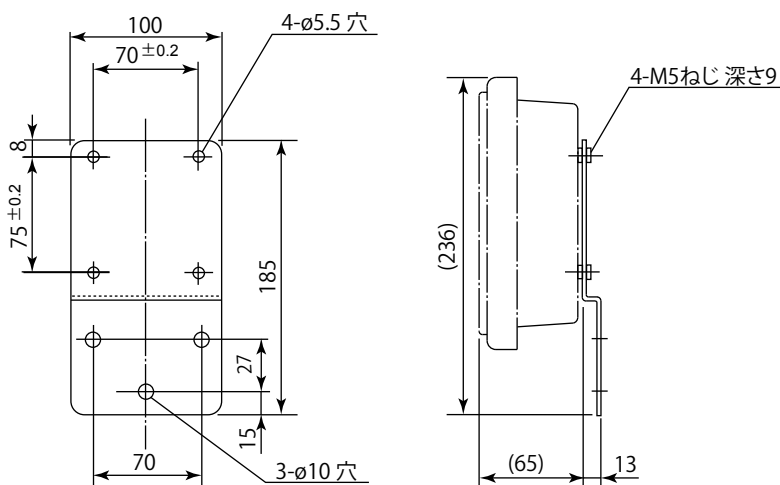


図1.2 「WTB10-PH□中継端子箱」外形図 (その2)

2. 設置、および配線

2.1 設置

2.1.1 設置場所

中継端子箱は防雨構造となっているので、屋外に設置することができます。電極にできるだけ近接した場所に設置してください。

注記

湿気や腐食性ガスの多い場所への設置は、できるだけ避けてください。
 湿気や腐食性ガスがある場合、もし、ケースカバーの取付けが不完全になっていると、トラブル（絶縁不良、腐食による断線・導通不良）の生じることがあります。
 なお、ケースカバーの器内側には、乾燥剤（シリカゲル）が装填してあります。

2.1.2 取付け方法

中継端子箱は、ブラケット、パイプ（呼び 50A）または壁面に取り付けることができます。ただし、パイプおよび壁面に取り付ける場合は、それぞれ専用の取付け金具が必要です。これらの取付け金具は、指定があった場合にだけ添付されます（付属のねじ 4 本を使用して、ケースに取り付けてください）。

(1) ブラケットに取り付ける場合

中継端子箱ケースにある取付け穴の深さは、9 mm です。ブラケットの厚みを考慮して、最適な長さの M5 ねじを準備してください。
 ブラケットへの穴加工は、図 2.1 に準じて施します。

単位:mm

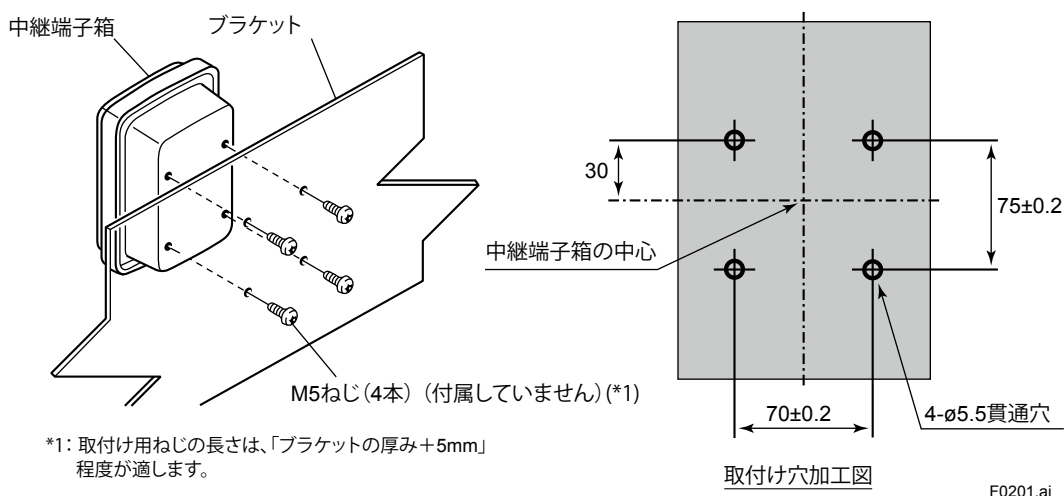
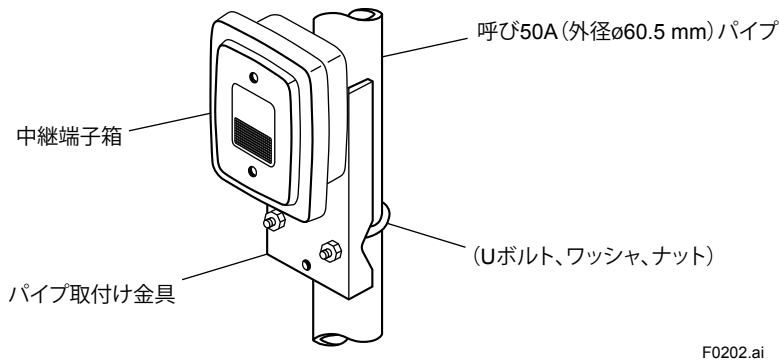


図2.1 ブラケット取付けの場合の穴加工および取付けの要領

(2) スタンション (パイプ) に取り付ける場合

図 2.2 のように、中継端子箱を U ボルトでスタンション (パイプ) に固定します。堅牢な外径 $\phi 60.5$ mm のパイプを、垂直方向 (水平方向も可能) に設けてください。

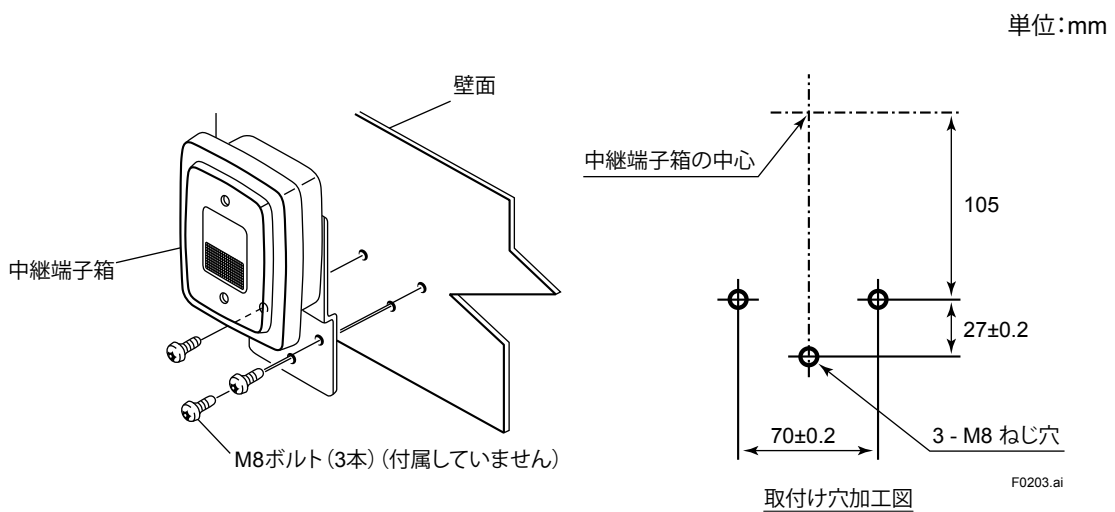


F0202.ai

図2.2 パイプへの取付け要領

(3) 壁面に取り付ける場合

中継端子箱を 3 本の M8 ボルト (付属していません) で固定します。図 2.3 のように、壁面に穴加工を施してください。



単位:mm

F0203.ai

図2.3 壁面取付けの場合の穴加工および取付けの要領

注記

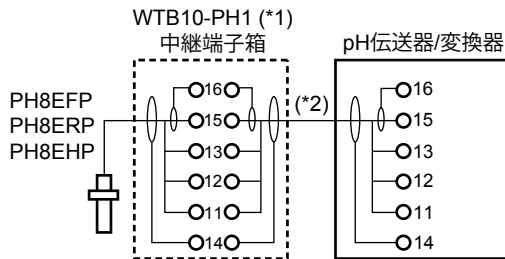
配線穴 (ケーブル引込み口) の打ち抜きについて
 中継端子箱のケーブル引込み口は、配線時に打ち抜く構造になっています。もし、設置後に打ち抜き作業 (図 2.5 参照) が困難になる場合は、設置前に打ち抜いておいてください。

2.2 配線

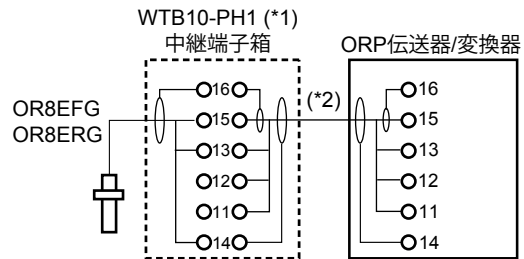
中継端子箱の器内端子板には、検出器ケーブルおよび pH/ORP 伝送器、変換器との結線に用いる延長ケーブルを接続します。

● 一般用PH/ORP検出器の場合

一般用pH検出器接続の場合

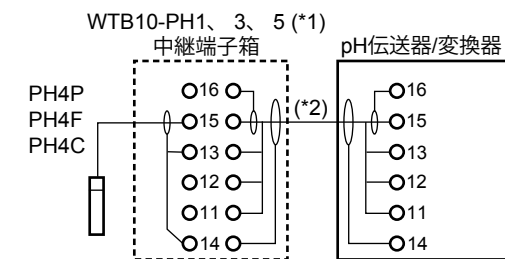


一般用ORP検出器接続の場合

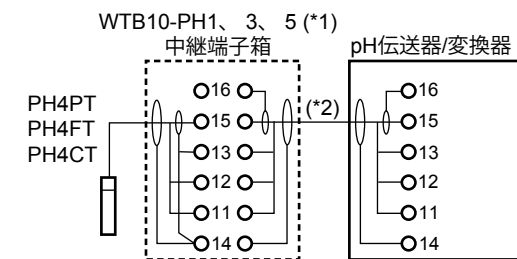


● PH4/OR4検出器の場合

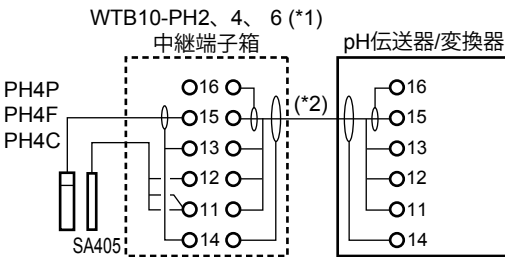
測温抗体付きアダプタSA405を使用しない場合



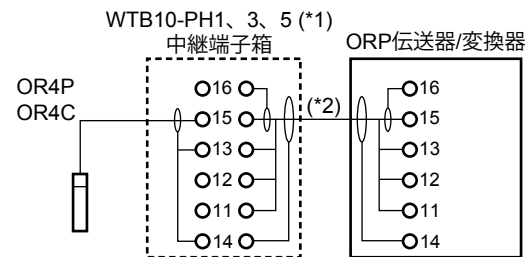
測温抗体一体形pH検出器の場合



測温抗体付きアダプタSA405を使用する場合



ORP検出器の場合



F0204.ai

*1：中継端子箱は、pH伝送器/変換器やORP伝送器/変換器を、pH/ORP検出器から離して設置する場合のみ使用されます。

PH202、FLXA202/FLXA21とピン端子接続する場合に使用してください。

PH450G、PH202G/TBとM3丸端子接続する場合は、WTB10-PH3を使用します。

FLXA202/FLXA21とM4丸端子接続する場合は、WTB10-PH5を使用します。

FLXA21のTIIS防爆では、中継端子箱の使用はできません。

*2：このケーブルは中継端子箱の付加コードにより指定されます。

中継端子箱のケーブル長と検出器のケーブル長は、合計で20 m 以内になるように選択してください。

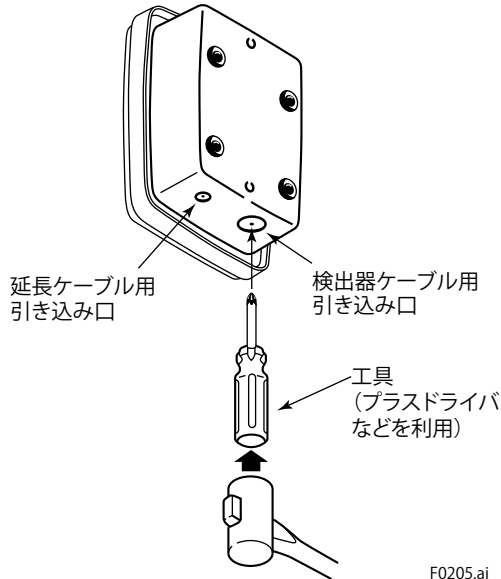
図2.4 WTB10-PH□中継端子箱に接続する配線

注記

中継端子箱は接地しないでください。コンジット工事時は特にご注意ください。
PH450G 変換器を使用する場合は、WTB10-PH3、-PH4 中継端子箱と接続します。接続する検出器ケーブルおよび延長ケーブルは、M3 丸端子付きのものをご使用ください。また既存の PH8TBG 中継端子箱を使用する場合、M3 丸端子は接続できませんのでご注意ください。

2.2.1 ケーブル引き込み口の加工

未加工のケーブル引き込み口に穴加工を施してください。ケーブル引き込み口の位置は、ケースの下部に円形溝で示してあります。
 工具（プラスドライバなどを利用）の先端部をこの円の中心に当て、工具の頭を木槌でたたいてください。溝にそった穴を打ち抜くことができます。

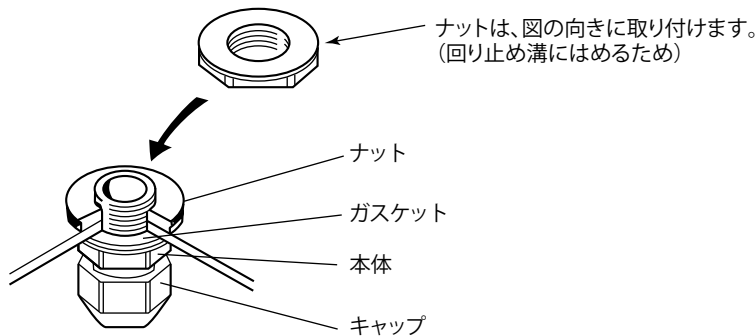


F0205.ai

図2.5 配線穴の打ち抜き方

2.2.2 検出器ケーブルの接続

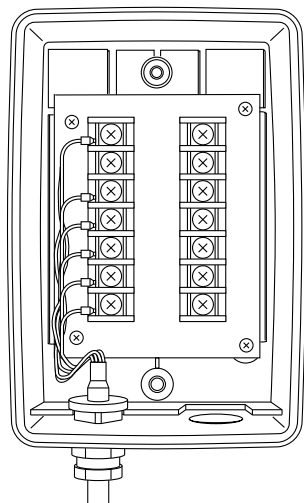
- (1) 中継端子箱前面にある2本のねじを緩めて、カバーをはずしてください。
- (2) ケーブルグランド（JIS A8 相当）を、検出器ケーブル引き込み口に取り付けます。
 まず、ケーブルグランドからナットを取りはずし、器内の所定位置（回り止めのある部分）に納めてください。
 次に、図 2.6 のように、ケーブルグランドの本体部をナットにねじ込んでください。



F0206.ai

図2.6 ケーブルグランドの取付け

- (3) 検出器ケーブルを、引込み口から中継端子箱内に引き込みます。
ケーブルグランド本体からキャップ・押え爪・ゴムパッキンはずし、検出器ケーブルに取り付けてください。そして、ケーブル先端部を中継端子箱内に引き込みます。
- (4) 検出器ケーブルの芯線を各端子に接続します。
各芯線の記号を確認して、それぞれの芯線を該当する端子に正しく接続してください。



-PH1、-PH2、-PH5、-PH6の端子ねじはM4です。
-PH3、-PH4の端子ねじはM3です。

図2.7 検出器ケーブルの接続状態

- (5) ケーブルグランドでケーブルを固定します。
ケーブルグランド本体にゴムパッキン・押え爪を押し込み、機器内に湿気が入らないようキャップを十分にねじ込んでください。ただし、キャップを締め過ぎるとケーブルを傷めるので注意してください。

注記

検出器ケーブルのコンジット工事は行わないでください。

2.2.3 延長ケーブルの接続

中継端子箱と pH/ORP 伝送器、変換器間は、専用の延長ケーブルで配線します。

この延長ケーブルは、指定があった長さのものが中継端子箱に付いています。

なお、延長ケーブルをコンジットで保護する場合は、付属のケーブルグランド（中継端子箱の延長ケーブル引込み口用および伝送器の検出器ケーブル引込み口用）からキャップを取りはずし、替わりにアダプタ（付加コード：/AWTB または /ANSI の指定があった場合に添付）を取り付けてください。

注：延長ケーブルをコンジットで保護する場合は、伝送器 / 変換器の延長ケーブル引込み口に付いている DIN Pg13.5/M20 ケーブルグランドを JIS A15 ケーブルグランドに交換します。中継端子箱の延長ケーブル引込み口用ケーブルグランド（樹脂製）にコンジットアダプタを取り付けてください。ケーブルグランドを樹脂製（絶縁物）にすることで中継端子箱内面がコンジットを通して接地されることを防ぎます。

中継端子箱への延長ケーブル接続は、次の要領で行います。

- (1) 延長ケーブルに、付属のケーブルグランドを取り付けます。
 ケーブルグランドを、いったん、個々の部品に分解したうえで、キャップ（またはアダプタ）、押え爪、ゴムパッキン、本体、ガスケットの順にケーブルへ通してください。ナットはケーブルを器内に引き込んでから取り付けます。
 なお、ケーブルグランドは、熱収縮性チューブの被せてある部分に取り付けます。
- 注：延長ケーブル両端の端末処理は、同じになっています（中継端子箱側と伝送器側との区別はありません）。
- (2) ケーブルを器内に引き込みます。そして、ナットをケーブルに通してから、ケーブルの芯線を該当する端子に正しく接続してください。
- (3) ケーブルグランドをケーブル引込み口に取り付けます。
 ナットを所定の位置に納め、本体を十分にねじ込んでください。
 本体を固定したら、器内に湿気が入らないようキャップまたはアダプタ（コンジット工事を行う場合）をしっかりと取り付けておきます。

単位:mm

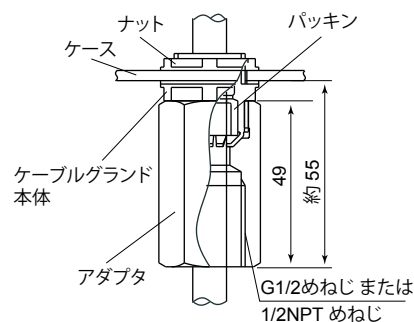


図2.8 ケーブルグランドの取付け状態（コンジット工事の場合）

- (4) 中継端子箱の前面カバーを取り付けます。器内の気密性が保持されるよう、取付けねじを十分に締め付けてください。
- (5) ケーブルをコンジットで保護する場合は、アダプタにコンジットのユニオン継手部をねじ込んでください。

3. 点検、および保守

通常、WTB10-PH □中継端子箱は、システムの定期修理実施時（1～2年ごと）に異常が生じていないことを点検すればよく、日常的に点検・保守する必要はありません。

3.1 乾燥状態の点検と保守

中継端子箱のカバーをはずし、機器内に湿り気がないことを確認してください。もし、機器内が著しく湿っていたら、ヘアドライヤなどで温風を当て、乾燥させてください。また、予備の乾燥剤がある場合は、カバー内の乾燥剤（シリカゲル、約30g）を交換してください。

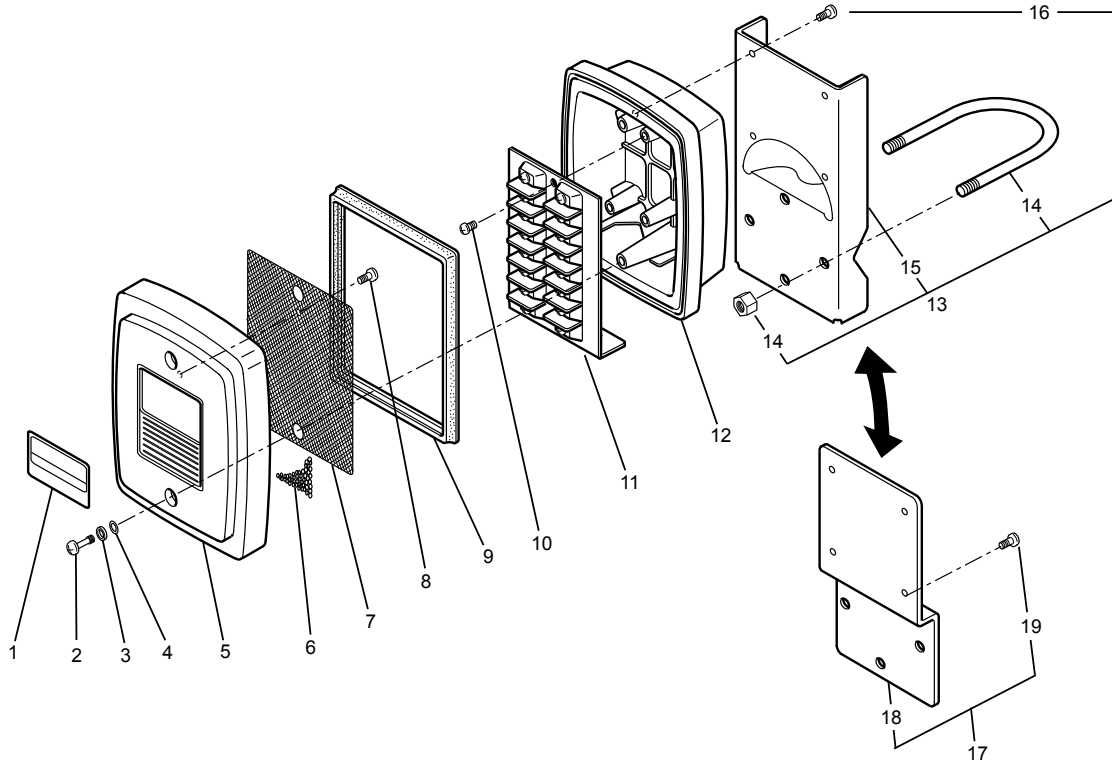
3.2 腐食の点検と保守

腐食性ガスの侵入で、端子や導線部が腐食していないことを確認してください。もし、腐食が著しく、トラブル（接触不良や断線）のおそれがある場合は、腐食している部品を交換してください。

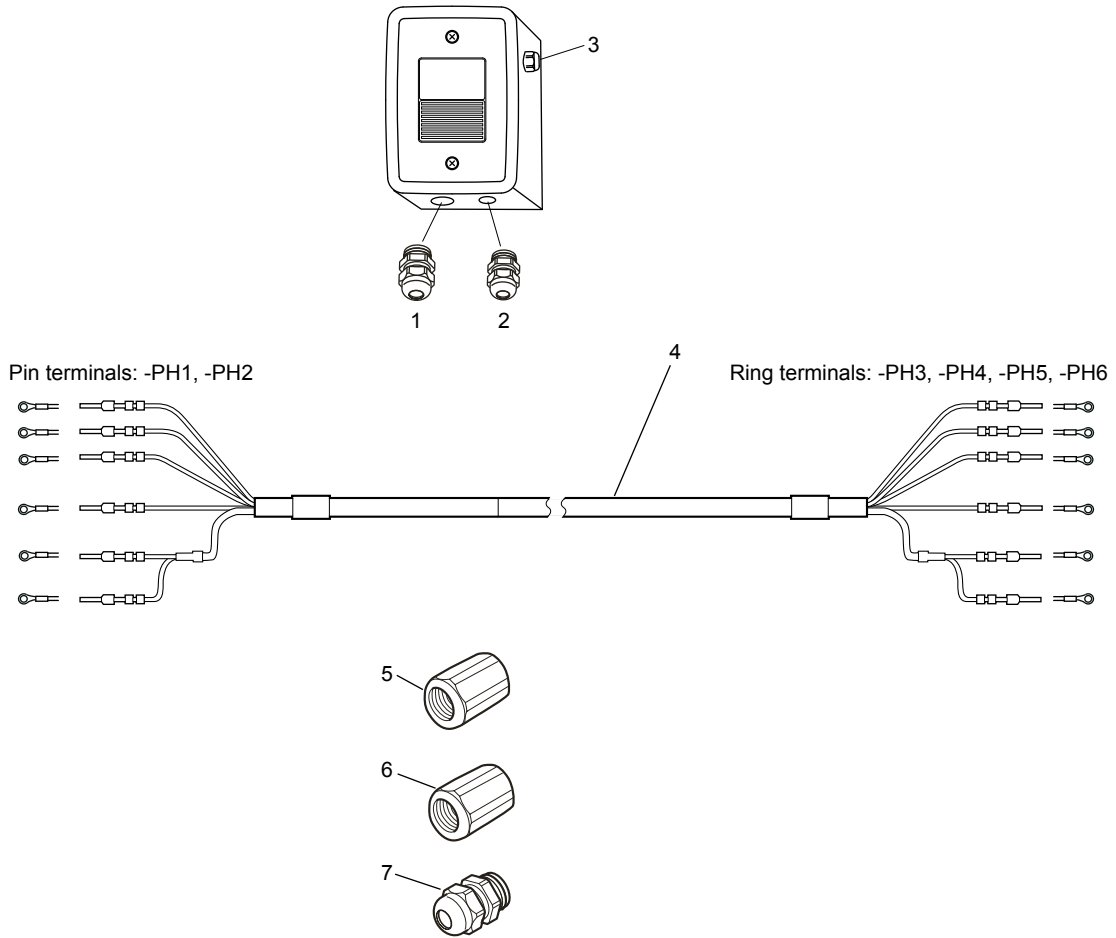
なお、ケーブル芯線の圧着端子を交換する場合は、変換器側は、芯線の接続記号標識（マークバンド）をなくさないよう注意してください。

Customer Maintenance Parts List

WTB10-PH1, -PH2
WTB10-PH3, -PH4
WTB10-PH5, -PH6
Terminal Box



Item	Partt No.	Qty	Description
1	K9316NR	1	Nameplate
2	K9141XM	2	Screw
3	K9141XN	2	Gasket
4	G9303NB	2	O-Ring
5	K9141XD	1	Cover
6	K9020XR	1	Desiccative (30g)
7	K9141XT	1	Plate
8	Y9304LB	2	B.H. Screw, M3 x 4
9	K9141XQ	1	Gasket
10	Y9405LB	2	B.H. Screw, M4 x 5
11	— K9316PA K9316QA K9316PA	1	Terminal Assembly For WTB10-PH1, -PH2 For WTB10-PH3, -PH4 For WTB10-PH5, -PH6
12	— K9141XA K9148UM	1	Case For WTB10-PH1, -PH3, -PH5 For WTB10-PH2, -PH4, -PH6
13	K9141SA	1	Bracket Assembly (for pipe mounting); option
14	D0117XL-A	1	U-Bolt Assembly
15	K9141SB	1	Bracket
16	Y9508JU	2	Pan H. Screw, M5 x 8
17	K9141SC	1	Bracket Assembly (for wall mounting); option
18	K9141SD	1	Bracket
19	Y9508JU	2	Pan H. Screw, M5 x 8



Item	Partt No.	Qty	Description
1	B1002JZ	1	Cable Gland (JIS A15)
2	B1001JZ	1	Cable Gland (JIS A8)
3	K9148UN	1	Cable Gland (for WTB10-PH2, -PH4, -PH6)
4	—	1	Cable Assembly
	K9316RU		Cable length 5 m (for WTB10-PH1, -PH2)
	K9316RV		Cable length 10 m (for WTB10-PH1, -PH2)
	K9316RW		Cable length 15 m (for WTB10-PH1, -PH2)
	K9316RX		Cable length 20 m (for WTB10-PH1, -PH2)
	K9316VA		Cable length 5 m (for WTB10-PH3, -PH4)
	K9316VB		Cable length 10 m (for WTB10-PH3, -PH4)
	K9316VC		Cable length 15 m (for WTB10-PH3, -PH4)
	K9316VD		Cable length 20 m (for WTB10-PH3, -PH4)
	K9316WA		Cable length 5 m (for WTB10-PH5, -PH6)
	K9316WB		Cable length 10 m (for WTB10-PH5, -PH6)
	K9316WC		Cable length 15 m (for WTB10-PH5, -PH6)
	K9316WD		Cable length 20 m (for WTB10-PH5, -PH6)
5	K9141TX	1	Conduit Adapter (G 1/2) ; option
	K9311KQ	1	Conduit Adapter (1/2 NPT) ; option
6	K9141TY	1	Conduit Adapter (G 1/2) ; option
	K9311KR	1	Conduit Adapter (1/2 NPT) ; option
7	B1002JZ	1	Cable Gland ; option

取扱説明書 改訂情報

資料名称 : WTB10-PH 中継端子箱

資料番号 : IM 19D01B01-01

2016年5月/6版**全面見直し、特殊 PH/ORP 検出器受注停止対応**

p.2-3 特殊 PH/ORP 検出器に関する図の削除および、PH4/OR4 追加；

2015年11月/5版

p.i 「はじめに」に FLXA202 を追加

p.1-2 形名およびコードに FLXA202 を追加、附属品「壁面取付け金具」の部品番号修正；

p.1-3 ~ 1-4 外形図誤記修正；

p.2-3 図 2.4 を一部改定、FLXA202 を追加；

CMPL 19D01B01-01E を 7 版に改版（20 m 延長ケーブルの部品番号を削除）

2011年6月/4版**全面見直し、表記統一 InDesign 化**

ページの振り方変更 p.1~p.9 → 1-1~1-4、2-1~2-6、3-1~3-2；

図番号の振り方変更 図 1 → 図 1.1、図 2 → 図 1.2、図 3 → 図 2.1、図 4 → 図 2.2、図 5 → 図 2.3、図 6 → 図 2.4、

図 7 → 図 2.5、図 8 → 図 2.6、図 9 → 図 2.7、図 10 → 図 2.8；

p.i FLXA21 のドキュメント No. を追加；

p.1-2 形名およびコードに FLXA21 用「-PH5」、「-PH6」を追加；

p.1-3 ~ 1-4 外形図に FLXA21 用「-PH5」、「-PH6」を追加；

p.2-3 図 2.4 を一部改定：端子 15,16 を入れ替え、FLXA21 を追加；

p.2-4 図 2.7 に FLXA21 用「-PH5」、「-PH6」を追加；

CMPL 19D01B01-01E を 6 版に改版（「-PH5」、「-PH6」関連の部品を追加

2008年4月/3版

PH450G 用 M3 丸端子追加、CMPL を 5 版に改版

2007年6月/2版

p.ii 「本機器を安全にご利用いただくために」を追加；

p.iii 「納入後の保証について」を追加；

p.1 1.1 章「標準仕様」を一般仕様書 (GS) に合わせ全面変更；

p.2 1.2 章「付属品」表のコンジット接続用アダプタの部品番号追加；

p.3 1.3 章「外形図」全面変更；

p.5 2.1.2 章「取付け方法」図 5 の穴位置寸法の誤記訂正；

p.8 2.2.2 章「電極ケーブルの接続」を「センサケーブルの接続」に変更；

「図 9 センサケーブルの接続状態」の図を追加；

p.9 2.2.3 章「図 10 ケーブルグランドの取付け状態」の図を変更；

CMPL 19D01B01-01E 誤記訂正および部品追加

1999年11月/初版

新規発行

■ お問い合わせについて

本製品の情報に関しては、下記ホームページでもご覧になれます。

当社のホームページ： <http://www.yokogawa.co.jp/an>

